

平成 24 年 8 月 21 日

さいたま市 緑区長 野 島 俊 雄 様

東浦和地区連合商店会

顧問 関 口 貞 次

会長 石 井 靖 之

東浦和大通り商店会

会長 澤 野 伸 司

副会長 岡 崎 聖 祈

東浦和駅前サッカーシャトルバス・街路バナーに関する要望書

上記につきまして、東浦和の経済及び観光の活性化の為、改善していただきたく、下記のとおり、お願い申し上げます。

記

1. ほぼ地元住民が利用している東浦和駅ですが、唯一地元以外の客が多く利用するサッカー観戦日に、東浦和駅から往復シャトルバスが運行しています。当日には駅改札口からバス停まで、バリケードで仕切られシャトルバス案内スタッフにより、バスへ直接誘導され、観戦客は駅ロータリー内での買物も出来ずに乗車させられているのが現状です。全国のサッカーファンが東浦和を利用するにも関わらず、東浦和の地を歩くのはバリケード内の 30m 程です。帰りは横断歩道を渡って駅に入るだけです。また開催日においては、ロータリーの一般車両の出入りも出来なくなり、小中学生の習い事の送迎、身障者の乗降も不可能です。蕨・西川口行き 1 番 2 番乗場のバス停もシャトルバス専用になり地域住民の生活リズムが著しく阻害されます。

東浦和駅周辺には見沼通船堀・大間木氷川神社・見性院の墓など史跡もあり、魅力的な商店・飲食店も多く、一人でも多くの駅利用者が東浦和の観光スポットやお店を利用していただく為にシャトルバスのバス停の移動を要望します。往路①案は「大牧吉場」か「尾間木小学校入口」停、又②案は「氷川神社前」か「明の星学園」停で乗車することにより、往路の史跡散策や商店等での買物が見込めます。復路も同様に駅から 1～2 つ手前のバス停で降車するようにすれば、駅に着くまでの 300～500m で買物や飲食が見込まれ経済の活性と帰りの駅への一極集中ラッシュを緩和できるものと考えます。上記理由により是非ともバス停の移動に関し緑区を通して、市、JR 東日本様、国際興行バス様、浦和レッズ様に対し交渉していただきたく重ねて要望致します。特にさいたまスタジアムでの国際試合開催日の飲食店の閑散とした現状も視察していただければと思います。

2. 東浦和地区連合商店会・東浦和大通り商店会でも街路灯設置は会議の中でも論議されていますが、予算の問題と市の補助金減額により現状では設置が困難です。今回街路灯の無い商店街には浦和レッズ様はバナーを配布しませんでした。シャトルバスの終着駅としては駅を降りて、全くサッカーの街を感じさせない風景を商店会としても住民の方々も悲観しています。私たち商店会の街路灯設置の目途がつくまで、せめてロータリー内、県道に設置してある市・県の水銀燈にクランプを使ってバーを装着してバナーを下げていただき駅前だけでもサッカーの街らしい賑やかさを演出していただきたく要望します。

以上